

# インターナショナル・コンペティション

世界各国からの1153本の応募作品から選ばれた選りすぐりの作品。
ヤマガタお馴染みの監督から、新人まで多彩な作品が“いま”を捉える。
併せて監督の過去の作品を上映。

photo: Boundary



祖國が死か Motherland or Death
監督: ヴィタリー・マンスキー
夏のヴァカンスで溢れるロシアの海岸、人々は快楽、金、権力などの欲望を剥き出しにする。混乱するロシアの当時はアプテンボにあぶ出す。「祖國が死か」のV-マンスキーが共同監督した旧作。



ワイルド・ワイルド・ビーチ
監督: アレクサンダー・ラストルグエフ、ヴィタリー・マンスキー、スザンナ・バラシエ
夏のヴァカンスで溢れるロシアの海岸、人々は快楽、金、権力などの欲望を剥き出しにする。混乱するロシアの当時はアプテンボにあぶ出す。「祖國が死か」のV-マンスキーが共同監督した旧作。



空高く 大地高し
監督: ナンダワット・ナムベンジャポン
2010年、タイの政治危機のなか出会ったカンボジア国境地帯出身の若者。除隊し故郷に帰る彼の姿を通して、政治闘争や国境紛争、人々の暮らしを色豊かに描き出す。



なみのこえ (YIDFF特別版)
監督: 酒井耕、濱口竜介
『なみのおと』『うたうひと』に連なる東北記録映画三部作の一作。東日本大震災の被災者の対話から、時に言葉は魂に触れ、時に震災の体験を超え、普遍的な日常についての思索となっていく。



なみのおと
監督: 酒井耕、濱口竜介
津波被害を受けた三陸沿岸部に暮らす人々の「対話」を撮り続けた作品。互いに向き合い対話する姿や声から、人々が紡いできた場所や生活への思いが溢れる。



うたうひと
監督: 酒井耕、濱口竜介
『なみのおと』『うたうひと』に連なる東北記録映画三部作の一作。東日本大震災の被災者の対話から、時に言葉は魂に触れ、時に震災の体験を超え、普遍的な日常についての思索となっていく。



父の日の贈り物
監督: 王秀齡
2009年8月、大型の台風による山崩れで高雄県小林村は壊滅した。責任問題、復興予算騒動、生存者同士の対立、移住計画による分断。台湾式、政治と行政の復興狂想曲。



天からの贈り物 小林村の悲劇
監督: 王秀齡
津波被害を受けた三陸沿岸部に暮らす人々の「対話」を撮り続けた作品。互いに向き合い対話する姿や声から、人々が紡いできた場所や生活への思いが溢れる。



家族のかけら
監督: ティエゴ・グティエレス
メキシコシティ郊外の広大な敷地に建つ、壮麗な邸宅で暮らす老夫婦と、息子である監督がみつめる。愛し合っていた夫婦が疎遠になっていく姿にどんな結末が待っているのか。

★印はYIDFF2013での上映作品 全作品日本語字幕付き/英語または英語字幕付きの作品は「◎Eng」で表記



我々のものではない世界
監督: マハティ・フレフェル
北欧に移住したパレスティナ難民の監督が、難民キャンプに里帰る度に撮った映像や父の残したホームビデオ等から描く、家族や友の記憶、そして人生。



リヴィジョン/検証
監督: フリアフ・シェプナー
1992年、ドイツとポーランド国境で、ルーマニアから来た2人のロマ人の不法移民の死体が発見される。「映画史的検証」から暴力と差別の歴史が浮かび上がる。



チョール 国境の沈む島
監督: ソラウイ・サーランキ
カンジンスに浮かぶ中洲の島々、チョールは雨季のたびに住む土地を失う人々の板の宿。「ビラルの世界」の監督が10年の歳月をかけ、浸食する大河、それに抗い生きる人々の姿を追う。



ビラルの世界
監督: サル・ムンタス
カンボジアの路地裏に、弟と盲目の両親と住む5歳のビラル。大きな瞳が誘う、スラム街のざわめく感あふれる信賴関係の豊饒なる記録。



鉄の時代
監督: チョン・ジユン
詩人タルウーシユの墓碑の近くで行われるラマラのパレスティナ音楽祭に集うTVクルー、学生、演奏者、裏方――本番までの人々の姿が感性豊かに映し出される。



ブアさんのござ Mrs. Bua's Carpet
監督: スズン・モントゥー
韓国の米軍基地周辺の旧雑居街。沈黙が支配する町に、3人の元売春婦の女性が暮らす。静かに語られる過去、その朽ち果てた風景の中にも、愛おしい記憶が満ちていく。



アメリカ通り
監督: キム・ドンリョン
米軍基地がある東豆川市「アメリカ通り」で働く韓国人女性Kの歴史、ロシア人、フリピン人女性の現在。米兵たちとの関係、彼女たちの故郷への想いを見届けよう。幸福な画面の裏に潜む紛争地の深い哀しみ。



家族のかけら
監督: ティエゴ・グティエレス
メキシコシティ郊外の広大な敷地に建つ、壮麗な邸宅で暮らす老夫婦と、息子である監督がみつめる。愛し合っていた夫婦が疎遠になっていく姿にどんな結末が待っているのか。

## NEW ASIAN CURRENTS

photo: Motherland or Death

# アジア千波万波

ヤマガタでしか実現できないプログラムとして人気の“アジア千波万波”。
荒削りでも、新しい表現に果敢に挑み続けるアジアの作家たちを発掘、応援する。

photo: The Targeted Village



鉄の時代
監督: チョン・ジユン
詩人タルウーシユの墓碑の近くで行われるラマラのパレスティナ音楽祭に集うTVクルー、学生、演奏者、裏方――本番までの人々の姿が感性豊かに映し出される。



戦争に抱かれて
監督: フリピン・マリン
韓国民主化闘争に身を投じた母の時代が浮かび上がる「鉄の時代」。フリピン・マリン出身の監督が異なる宗教の家系をたどる「戦争に抱かれて」。



蜘蛛の地
監督: キム・ドンリョン、パク・ギョンテ
韓国の米軍基地周辺の旧雑居街。沈黙が支配する町に、3人の元売春婦の女性が暮らす。静かに語られる過去、その朽ち果てた風景の中にも、愛おしい記憶が満ちていく。



怒れる沿線: 三谷(さんや)
監督: 王爾卓(ワン・アルジュオ)
母親のように育ててくれた叔母を救ねた監督は、カメラの前で語られる叔母の生い立ちや恋愛、家族関係を通して、ありふれた幸せや悲しみを映し出す。



最後のハンダハン
監督: 顧桃(グー・タオ)
森に住む威厳はあるが孤獨な鹿ハンダハンのように、エヴェンキ族の維如(ウェイジャ)は、廃れ行く文化の中で、飲んだくれるしかない。3部作の最終章。

photo: Denok & Gareng



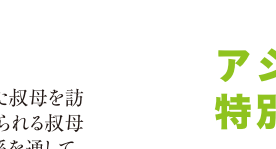
この2メートルの土地で
監督: アフマド・ナシヤ
詩人タルウーシユの墓碑の近くで行われるラマラのパレスティナ音楽祭に集うTVクルー、学生、演奏者、裏方――本番までの人々の姿が感性豊かに映し出される。



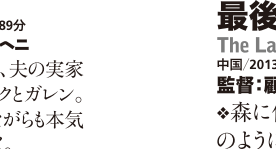
ゴールド・アンダーグラウンド
監督: 傑小鋒(リー・ジャオフォン)、賈懼(ジャウ・カイ)
「中国のクウェート」炭鉱タウンの榆林(ユイリン)に吸い込まれていく炭坑夫たち、石炭輸送トラック運転手、手配師の女主人を個性豊かに描く意欲作。



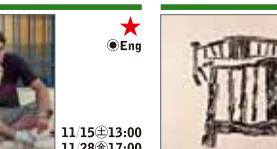
歌は人生
監督: 趙剛(チャオ・ガン)
四川地方の喧嘩も笑いも絶えない大衆演劇団の人間模様。そこで成長した花形女優の丹丹(タンタン)は、人生に迷いながらも懸命にヒロインを演じ続ける。



ほくとおばさん
監督: 王爾卓(ワン・アルジュオ)
母親のように育ててくれた叔母を救ねた監督は、カメラの前で語られる叔母の生い立ちや恋愛、家族関係を通して、ありふれた幸せや悲しみを映し出す。



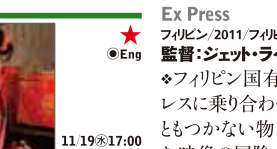
最後のハンダハン
監督: 顧桃(グー・タオ)
森に住む威厳はあるが孤獨な鹿ハンダハンのように、エヴェンキ族の維如(ウェイジャ)は、廃れ行く文化の中で、飲んだくれるしかない。3部作の最終章。



チークを辿る道
監督: ルーシー・テイヴィス
韓国民主化闘争に身を投じた母の時代が浮かび上がる「鉄の時代」。フリピン・マリン出身の監督が異なる宗教の家系をたどる「戦争に抱かれて」。



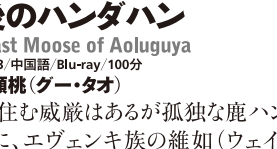
標的の村
監督: 三上智恵
自然豊かな沖繩・高江。村を包囲するヘリパッド基地建設への反対運動を始めた住民が直面する数々の暴力。強引な日米の軍事植民地化への怒り、悲しみが切実に伝わる。



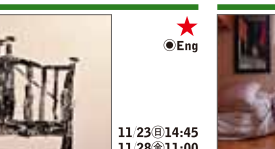
エクス・プレス
監督: ジェット・ライ
フリピン固有鉄道、ピコール・エクプレスに乗り合わせた監督の、空想とも現実ともつかない物語の断片が散りばめられた映像の冒険。



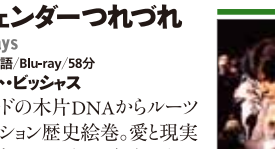
オルグヤ、オルグヤ...
監督: 顧桃(グー・タオ)
中国・東北地方の大興安嶺(ダーシンアンリン)山脈に住むエヴェンキ族の家族たち。雨果とその母を中心に人々の森の生活が個性豊かに描かれる2作品。



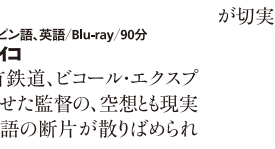
雨果(ユイグオ)の休暇
監督: 顧桃(グー・タオ)
中国・東北地方の大興安嶺(ダーシンアンリン)山脈に住むエヴェンキ族の家族たち。雨果とその母を中心に人々の森の生活が個性豊かに描かれる2作品。



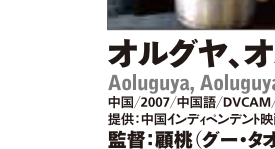
咲きこぼれる夏
監督: ハウジン・ユコジシ
韓国民主化闘争に身を投じた母の時代が浮かび上がる「鉄の時代」。フリピン・マリン出身の監督が異なる宗教の家系をたどる「戦争に抱かれて」。



標的の村
監督: 三上智恵
自然豊かな沖繩・高江。村を包囲するヘリパッド基地建設への反対運動を始めた住民が直面する数々の暴力。強引な日米の軍事植民地化への怒り、悲しみが切実に伝わる。



歌は人生
監督: 趙剛(チャオ・ガン)
四川地方の喧嘩も笑いも絶えない大衆演劇団の人間模様。そこで成長した花形女優の丹丹(タンタン)は、人生に迷いながらも懸命にヒロインを演じ続ける。



オルグヤ、オルグヤ...
監督: 顧桃(グー・タオ)
中国・東北地方の大興安嶺(ダーシンアンリン)山脈に住むエヴェンキ族の家族たち。雨果とその母を中心に人々の森の生活が個性豊かに描かれる2作品。



雨果(ユイグオ)の休暇
監督: 顧桃(グー・タオ)
中国・東北地方の大興安嶺(ダーシンアンリン)山脈に住むエヴェンキ族の家族たち。雨果とその母を中心に人々の森の生活が個性豊かに描かれる2作品。

# 城西国際大学 スペシャル・プログラム

## 1 | ドキュメンタリーは倫理マシン!

震災をどう記録するかという議論の中で改めて脚光を浴びている、ドキュメンタリー作りと倫理の問題。映画とは制作者の主体的表現であり、同時に被写体や社会との関係性の中で育まれます。カメラを向けられた被写体との関係性、嘘偽りのない表現を求める観客に対する責任を、映画作家はどのように考えるのか? 盛況だったYIDFF2013の特集「6つの眼差しと倫理マシン」に続き、東京でさらに具体的に議論を深めます。

11月28日(金)

14:15 ~ 上映『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(YIDFF版)
The End of the Special Time We Were Allowed
日本/2013/日本語/Blu-ray/151分/with English Subtitles/監督: 太田信吾
一緒に映画を作る約束だった友人が自死。残された監督は…。素顔と演技、実在と不在が錯綜し、映画が崩壊していく。劇場公開前に作られたヤマガタ版で上映。

## 17:00 ~ 19:30 ディスカッション

ゲスト: 阿部マーク・ノース(シガン大学教授、城西大学日本アジア映像研究センター研究員)、太田信吾(映画監督)ほか
会場: 城西国際大学東京紀尾井町キャンパス(1号棟)地下ホール | 入場: 無料

## 2 | フリップさんとの対話

2012年秋、フィンランド人プロデューサーが、6名の若手ドキュメンタリストと、製作中の映画企画をめぐって話しあう「イーツカさんとの対話」が開催されました。その時の「わたしたちに許された特別な時間の終わり」(太田信吾監督)はYIDFFや劇場で公開を果たし、『海へ 朴さんへの手紙』(久保田桂子監督)、『さらば団地婦人』(杉本晴子監督)、『フリーダー・カールの遺品』(小谷忠典監督)は完成を間近に控えています。今年もまた、ひとりでコツコツやってきたドキュメンタリー制作者が、新たな目を通して自分の企画を再発見するチャンス、参加者を募集します。これは、資金獲得や優秀を競うための企画提案会議ではありません。イベント当日は、事前に出選された企画の監督による20分程度の発表の後、今年はシンガポールのフリップ・チアさん他とのディスカッションです。一般観客がオブザーバー参加できる公開イベント。日英通訳つき。

## 11月29日(土) | 10:30 ~ 17:30 (昼食休憩あり)

会場: 城西国際大学東京紀尾井町キャンパス3号棟 | 入場: 無料
「フリップさんとの対話」企画応募の方法
■ 長編ドキュメンタリー映画を制作中で、11月29日当日参加できるなら、どなたでも応募できます。応募料はありません。
■ 氏名、連絡先(電話&メールアドレス)、略歴と合わせ、A4用紙1枚の日本語企画書と10分程度の素材映像を郵送ください。企画書は形式自由ですが、作者の意図と完成予定時期は明記してください。映像は編集、未編集、英語字幕の有無は問いませんが、必ずDVDでお送りください。ネット上のリンクは不可。
■ 送付先: 〒160-0005 東京都新宿区薬王町22 第3山田ビル6F シネマトリックス 「フリップさん」係
Tel: 03-5362-0671 Email: mail@cinematrix.jp
■ 応募締め切り: 11/4(火) 消印有効
■ 結果発表: 11/14(金) http://www.cinematrix.jp/ds2014 サイト上で発表します

# 城西国際大学 JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

- 特別協力: 城西国際大学メディア学部、学校法人城西大学日本アジア映像研究センター
■ 城西国際大学東京紀尾井町キャンパス(1号棟): 東京都千代田区紀尾井町3-26
■ 城西国際大学東京紀尾井町キャンパス3号棟: 千代田区平河町2-3-20
● 問い合わせ: 城西国際大学東京紀尾井町キャンパス TEL 03-6238-8500
アクセス: 地下鉄麹町駅より3分、永田町駅より5分

